

令和4年度第2回名取市障がい者等地域づくり協議会全体会 会議録

- 1 日 時 令和5年3月29日(水) 午後1時30分～午後2時45分
- 2 場 所 名取市役所6階第1会議室
- 3 出席者 委 員 11名
吉田 美喜子委員、水沼 恵子委員、熊谷 経子、庄司 公代、
奈尾 隆平委員、山川 美和子委員、秋庭 賢一委員、木村 洋
委員、鹿野 さつき委員、荒井 勝江委員、安倍 卓委員
(欠席 3名：前田 忠嗣委員、佐藤 輝委員、矢澤 ユキ江委員)
事務局 4名(佐藤課長補佐、平塚技術補佐、今野係長、菅野)
傍聴者 1名
4. 内 容 別紙の通り

令和4年度第2回名取市障がい者等地域づくり協議会全体会

進行：佐藤課長補佐

1.開 会

2.あいさつ 名取市障がい者等地域づくり協議会 安倍会長

○審議会等の会議の公開について

→「名取市審議会等の会議に関する要綱」により、原則公開となっています。会議の日程等をホームページなどにも掲載し、傍聴していただくものとしています。情報開示請求があった場合、委員名簿と会議録を公開します。会議録については、概要記録の方法で記録させていただきます。

3.協 議 議長：安倍会長

- (1) 令和4年度協議会の実施状況について …資料1（平塚）
- (2) 令和4年度専門部会及び連絡会の
- ・相談支援部会、ネットワーク連絡会 …資料2（長谷相談支援専門員）
 - ・くらし部会 …資料3（澤田石相談支援専門員）
 - ・相談支援連絡会 …資料4（伊東相談支援専門員）
 - ・就労連絡会 …資料5（金野サービス管理責任者）
 - ・グループホーム連絡会 …資料6（奈尾委員）
 - ・精神保健医療福祉連絡会 …資料7（板橋相談支援専門員）
- 〈質疑応答〉
なし
- (3) 令和4年度運営会議について …資料8（今野係長）
- 基幹相談支援センターについて …資料8（今野係長）
- 業務内容は大きく分けて5つ。(1) 総合的・専門的な相談支援の実施、(2) 地域の相談支援体制の強化の取組、(3) 地域移行・地域定着の促進の取組、(4) 権利擁護・虐待の防止、(5) 障がい者等地域づくり協議会の運営に関すること。
- 地域づくり協議会の事務局の機能としては、部会の議事録の作成や検討事項へのアドバイスを想定している。
- 令和5年6月開所予定。
- 〈質疑応答〉
- 山川委員：広報やホームページ等市民が分かりやすい方法で、6月より前に示してもらいたい。
- 今野係長：広報でお知らせするよう手配はしている。ホームページでも周知するよ

うに進めていく。

山川委員：協議会の場で話された内容を、手をつなぐ育成会の広報で自立協の動きを入れていきたい。手をつなぐ育成会の広報に自立協の内容を載せる際は社会福祉課に確認している。各部会等から是非載せてほしいと言っていただけると良いのでご協力をお願いしたい。

秋庭委員：基幹相談支援センターは他市町村では2、3年前から運用は始まっているところではあるが、基幹相談支援センターと相談支援事業所の連携が上手くいっているところと、上手くいっていないところがあると見受けられる。我々の病院は病状が重い患者のため、他市町村だと一相談支援事業所だと支援が困難な方に関しては相談支援事業所から基幹相談支援センターに支援を依頼するという形になっている。名取市ではどのような運用を考えているか。

今野係長：支援者支援が大きな役割かと思っている。業務内容（2）の地域の相談支援体制の強化の取組にかかってくると思う。相談支援事業所で対応困難な方の場合は基幹相談支援センターに相談して一緒に活動していくものと考えている。

秋庭委員：相談支援事業所が基幹相談支援センターに相談しない場合、病院から相談するのは有りか。

今野係長：ケースバイケースかと思うが、基幹相談支援センターに問い合わせすることは有りだと思える。

安倍会長：上手くいっていない場合はどのような所が上手くいっていないか。

秋庭委員：患者さんが相談支援事業所を拒否すると、そこから支援が進まない。そうすると相談支援事業所が家族にアプローチするが、家族からは来ないでと言われると終わってしまう。そのような場合に基幹相談支援センターが入ると良いのかなと思う。そのような時に相談支援事業所を飛ばすと失礼なので、そのような運用をどうするのかを考えていかないとけないと思う。

●障害児支援について

- ・児童発達支援センターについて …口頭にて説明（佐藤課長補佐）
児童発達支援センターは地域の障害児を預かる保育施設等への援助・助言や障害児やその家族への相談を行うなど、障害のある児童の福祉の中核拠点としての役割を担う施設である。

名取市としては現在、若竹園が行っている児童発達支援事業を拡大継承しつつ新たに「保育所等訪問支援事業」及び「障害児相談支援事業」を行うための施設を整備して運営できる事業者を昨年 4 月に公募した。公募のあった事業所については選定委員会により審査を行った結果、「学校法人 寿なとり学園」が優先交渉権者に決定した。

事業予定地は増田一丁目。広さは約 1,721 平方メートルで、定員は 32 名を予定している。

国の社会福祉施設補助事業補助金を受けるべく、寿なとり学園の方から申請を行い、結果を待っている。国では 4 月からこども家庭庁を設置することになっており、この事業についてはこども家庭庁の所管になる。通知は恐らくこども家庭庁が発足してから通知が来ると捉えている。予定は令和 6 年 4 月の開設を考えている。

- ・医療的ケア児等支援者研修会について …口頭にて説明（平塚技術補佐）
令和 5 年 1 月 5 日に医療的ケア児等の支援に係る関係者の連携を図ることを目的として、医療的ケア児等の支援者を対象とした研修会を開催した。講師に令和 4 年 7 月 1 日に開設された宮城県医療的ケア児等相談支援センター（通称：「ちるふぁ」）からセンター長の遠山氏ら 3 名に来ていただき、「ちるふぁ」の事業についてご説明いただいた。参加者からは大変参考になったという声が多く聞かれた。「ちるふぁ」の存在を知って安心感につながった、今後協働していきたいという声も多かった。

〈質疑応答〉

山川委員：児童発達支援センターは、補助金が下りなかった場合なとり学園さんは受託しないということになるのか。

佐藤課長補佐：もし補助採択が下りなかった場合、事業予算が相当な額になるため国の補助がないとなとり学園さんの単費では建設が難しいと聞いている。万が一補助採択が下りなかった場合、改めて令和 5 年度にエントリーをし、開設が 1 年延期になる。

山川委員：国の補助 1/2、名取市や県からも 1/4 等出るのか。

佐藤課長補佐：割合は今すぐには出ないが、名取市としても補助金を出して、予定通りにいくように考えている。

- （４）障害福祉計画の実施状況について …資料 9（今野係長）

令和 5 年度までの目標値となっている項目について、数字については令和 4 年の 12 月末の数値である。黒字が目標値、赤字が 12 月末の実績値。福祉施設入所者の地域生活への移行の施設入所者数の増減見込みは 3 人減である。これは入所者が高齢になり高齢者の施設に移るという背景がある。地域生活支援拠点等が有する機能の充実について、名取市では「相談」と「緊急時の受入・対応」を地域の課題と捉えて

いる。「緊急時の受入・対応」は、緊急時ショートステイ事業でその機能を確保している。「相談」については相談基幹センターの整備し確保できる見通しである。基幹相談支援センターの検証・検討も地域づくり協議会にて、基幹相談支援センターが開設された場合検証を行っていく。医療的ケア児の支援目標について、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置とコーディネーターの配置について令和5年度末を目標に取り組んでいく。

〈質疑応答〉

なし。

4. 各関係機関との情報交換

●仙台公共職業安定所から情報提供 ……口頭にて説明（鹿野委員）

1月末と2月の情報。

就職状況について、1月は60件、今年度817人がハローワークの紹介で就職した。これは去年の同じ時期と比べ、わずかに増加している。2月は84名がハローワークの紹介で就職している。2月も前年度に比べると増加している。4月～2月末で901人の就職。毎年の傾向だが、相談件数は年明け以降増加し1月2月は平均して70～80件あった。今年度は9月に面接会を開催できた。2月も面接会を開催した。令和5年度の9月と2月に開催予定。就労移行支援事業所を利用されている方が支援者と同行されて相談に来る方も多くなっている。

●手をつなぐ育成会から ……パンフレットを用いて説明（山川委員）

名取市の手をつなぐ育成会では「いろはとりどり隊」として活動し、疑似体験を通して知的障害・発達障害の啓発事業を行っている。グッズを使って発達障害の方がどのような感情を持って取り組んでいるのかを楽しみながら体験してもらう。消防や警察、市役所職員等に理解していただきたい。その他は小学校や中学校のお子さんなどから分かっていたことが大きいと思っている。公民館の共生社会を考えるとというテーマで実施している。令和5年7月頃文化会館を押しえられ次第、名取市手をつなぐ育成会の研修事業としてワーク会議を考えている。その時にこの疑似体験を見ていただいてお話をしたいと考えている。是非自立協の方々と一緒に参加していただきたい。また、社会福祉課と名取市長、県議会の皆様、教育委員会の方とネットワーク会議をしたいと考えている。

5. その他

次回全体会（令和5年度第1回）について、6月30日同時刻の予定で考えている。
(平塚技術補佐)

閉 会